

会告 I

2018年第66回日本輸血・細胞治療学会総会のご案内(第3報)

会期：2018年(平成30年)5月24日(木)～5月26日(土)
会場：栃木県総合文化センター、宇都宮東武ホテルグランデ
総会長：室井 一男(自治医科大学附属病院 輸血・細胞移植部)
テーマ：チーム医療とイノベーション

第66回総会本部：

自治医科大学附属病院 輸血・細胞移植部
〒329-0498 栃木県下野市薬師寺 3311-1
TEL：0285-58-7187(直通) FAX：0285-44-5087

学会本部事務局(学会入会申込等)：

一般社団法人 日本輸血・細胞治療学会 事務局
〒113-0033 東京都文京区本郷2-14-14 ユニテビル5階
TEL：03-5804-2611 FAX：03-5804-2612
E-mail：info@jstmct.or.jp

第66回総会ホームページ：<http://www.med-gakkai.org/66jstmct/>

事前参加登録：平成30年2月21日(水)より、総会ホームページにて募集いたします。

[募集期間] 平成30年2月21日(水)～4月4日(水) 正午

[参加費] 一般10,000円

※事前参加登録にご協力いただきました場合、会員懇親会の参加費3,000円を1,000円OFFとさせていただきます。

※本会では、共催セミナーのお弁当整理券を「事前予約制」といたします。事前参加登録時に、参加登録とあわせてお申込いただくことができます。当日配布の予定はございませんので、予めご了承ください。

※Meet the Expertは、事前参加予約制で最大50名程度の参加者を受け付けます。朝食を用意いたします。

宿泊について：総会ホームページにて一般参加者様向けの宿泊予約窓口を設けております。

会場近辺の宿泊施設は限られておりますので、お早目のご予約にご協力をお願いいたします。

[申込期間] 2017年10月18日(水)～2018年4月20日(金)

[担当窓口] 株式会社日本旅行 栃木支店

〒328-0041 栃木県栃木市河合町2-3

TEL：0282-23-3223 FAX：0282-22-7473

E-mail：tochigi_net@nta.co.jp

平日10：00～18：00(土・日・祝日休業)

託児施設について：詳細は総会ホームページにてご案内いたします。

プログラム

(平成30年2月7日現在) ※一部仮題

<特別講演>

1 「未定」

5月24日(木) 11：00～11：30

座長：室井 一男(自治医科大学附属病院輸血・細胞移植部)

演者：Tzong-Shi Chiueh (Professor Department of Laboratory Medicine Linkou Chang Gung Memorial Hospital TaoYuan City, Taiwan)

2 「未定」

5月24日(木) 11:30~12:00

座長: 佐竹 正博 (日本赤十字社中央血液研究所)

演者: Fang-Yeh Chu (President Taiwan Society of Blood Transfusion New Taipei, Taiwan)

3 「放射線被ばくと東京電力福島第一原子力発電所事故」

5月24日(木) 11:00~12:00

座長: 大戸 齊 (福島県立医科大学総括副学長)

演者: 明石 真言 (国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構)

4 「医学における臨床研究と統計解析」

5月24日(木) 13:30~14:30

座長: 前川 平 (京都大学医学部附属病院輸血細胞治療部)

演者: 神田 善伸 (自治医科大学内科学講座血液学部門)

5 「日本列島人の起源」

5月24日(木) 14:30~15:30

座長: 高松 純樹 (日本赤十字社東海北陸ブロック血液センター)

演者: 石田 肇 (琉球大学大学院医学研究科人体解剖学講座)

6 「血小板イメージング」

5月25日(金) 14:10~15:10

座長: 浅井 隆善 (千葉県赤十字血液センター)

演者: 西村 智 (自治医科大学分子病態治療研究センター分子病態研究部)

7 「看護師向けの学術教育」

5月25日(金) 16:10~17:10

座長: 田崎 哲典 (東京慈恵会医科大学附属病院輸血部)

演者: 渡邊 知映 (上智大学総合人間科学部看護学科)

8 「滅びゆく野生動物～止めることはできないのか～」

5月26日(土) 11:00~12:00

座長: 大谷 慎一 (北里大学医学部輸血・細胞移植学)

演者: 堀 浩 (那須サファリパーク & 那須ワールドモンキーパーク園長/NPO 法人アジア野生動物研究センター理事長)

他 1 枠予定

<教育講演>

1 「血漿交換療法の最近の話題」

5月24日(木) 10:00~10:30

座長: 菅野 仁 (東京女子医科大学医学部医学科輸血・細胞プロセッシング科)

演者: 花房 規男 (東京女子医科大学医学部血液浄化療法科)

2 「本邦における造血幹細胞移植の将来像」

5月24日(木) 10:30~11:00

座長: 田野崎隆二 (慶應義塾大学医学部輸血・細胞療法センター)

演者: 豊嶋 崇徳 (北海道大学大学院医学研究院血液内科学教室)

3 「血液製剤使用実態調査から分かること」

5月25日（金）11：30～12：00

座長：奥田 誠（東邦大学医療センター大森病院輸血部）

演者：菅野 仁（東京女子医科大学医学部医学科輸血・細胞プロセッシング科）

4 「人工赤血球製剤の新しい利用法」

5月25日（金）10：30～11：00

座長：稲葉 頌一（日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センター）

演者：酒井 宏水（奈良県立医科大学化学教室）

5 「献血者のウイルス感染について」

5月25日（金）11：00～11：30

座長：加藤 栄史（愛知医科大学輸血部・細胞治療センター）

演者：佐竹 正博（日本赤十字社中央血液研究所）

6 「臨床検査技師の研究への取り組みのノウハウ」

5月25日（金）11：30～12：00

座長：竹下 明裕（浜松医科大学輸血・細胞治療部）

演者：安田 広康（福島県立総合衛生学院教務部臨床検査学科）

7 「改正個人情報保護法と医学研究」

5月26日（土）10：30～11：00

座長：岡崎 仁（東京大学医学部附属病院輸血部）

演者：前田 正一（慶應義塾大学大学院 SFC 研究所医療倫理・医療安全教育研究・ラボ）

8 「抗血小板抗体の検出とその臨床的意義」

5月26日（土）11：00～11：30

座長：半田 誠（慶應大学）

演者：富山 佳昭（大阪大学医学部附属病院輸血部）

<シンポジウム>**1 「血液事業の将来」**

5月24日（木）09：00～11：00

座長：中島 一格（日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センター）

田中 朝志（東京医科大学八王子医療センター輸血部）

①日本赤十字社がこれまでに血液事業に果たしてきたこと

演者：佐竹 正博（日本赤十字社中央血液研究所）

②日本赤十字社が輸血医療に果たすべき将来的役割（今後の課題を含めて）

演者：平 力造（日本赤十字社血液事業本部）

③日本赤十字社が輸血医療に果たすべき将来的役割についての大学病院からの提言：全国大学病院輸血部会議における議論を振り返って

演者：松下 正（名古屋大学医学部附属病院輸血部）

④日本赤十字社が輸血医療に果たすべき将来的役割—医療機関側—

演者：藤田 浩（東京都立墨東病院輸血科）

⑤日本赤十字社が細胞治療・再生医療に果たすべき将来的役割（今後の課題を含めて）日赤側

演者：木村 貴文（日本赤十字社近畿ブロック血液センター）

⑥細胞治療・再生医療に果たすべき役割～輸血部門が求められていること～

演者：平安山知子（九州大学病院遺伝子・細胞療法部）

⑦患者および献血者のための血液事業のあり方

演者：高橋 孝喜（日本赤十字社血液事業本部）

共催：日本赤十字社

2 「チーム医療推進のための I&A の活用」

5月24日（木）13：30～15：30

座長：田中 朝志（東京医科大学八王子医療センター輸血部）

河野 武弘（大阪医科大学附属病院輸血室）

① I&A 視察における臨床輸血看護師の役割

演者：日南 淳子（大阪医科大学附属病院看護部）

② I&A による院内輸血体制の改善

演者：浦谷 寛（関東労災病院輸血部）

③ 視察員の視点でのチーム医療の推進

演者：上村 克子（社会医療法人明和会中通総合病院）

④ 病院機能評価でのチーム医療の推進

演者：寺崎 仁（東京女子医科大学医学部医療安全科）

⑤ I&A 認定取得に向けた院内他職種チームによる取り組み

演者：松谷 卓周（神鋼記念病院診療技術部検査室）

⑥ 医療全般の安全性確保における I&A の有用性～中小規模輸血施設への活用も含めて～

演者：玉木 茂久（伊勢赤十字病院血液内科/輸血細胞治療部/医療安全推進室/三重県輸血療法委員会）

3 「骨髄腫における輸血検査異常とその臨床的意義」

5月24日（木）09：00～11：00

座長：高梨美乃子（日本赤十字社血液事業本部）

富山 佳昭（大阪大学医学部附属病院輸血部）

① 多発性骨髄腫の病態と治療：抗体療法の位置づけ

演者：鈴木 憲史（日本赤十字社医療センター血液内科）

② Laboratory challenges with multiple myeloma patients receiving anti-CD38 monoclonal antibody therapy

演者：Richard Kaufman（Medical Director Brigham and Women's Hospital Transfusion Service Associate Professor of Pathology Harvard Medical School）

③ DTT 処理にて抗原性が変化する赤血球抗原系の本邦における臨床的意義

演者：堀 勇二（日本赤十字社近畿ブロック血液センター）

④ DTT 処理血球を用いた国際多施設検討

演者：常山 初江（日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センター）

⑤ グラツムマップ使用患者の輸血検査異常の対応とその問題点

演者：昆 雅士（日本赤十字社医療センター）

⑥ 共同研究によるグラツムマップ感作赤血球の解析とその臨床的意義

演者：竹下 明裕（浜松医科大学附属病院輸血細胞治療部）

共催：ヤンセンファーマ株式会社

4 「自己フィブリン糊の使用効果を検証する」

5月24日（木）13：30～15：30

座長：牧野 茂義（虎の門病院輸血部）

藤原実名美（東北大学病院輸血・細胞治療部）

① 自己フィブリン糊の普及と課題

演者：牧野 茂義（虎の門病院輸血部）

② 耳鼻咽喉科領域における CryoSeal system による完全自家血フィブリン糊の使用経験

演者：山内 大輔（東北大学大学院医学系研究科・医学部耳鼻咽喉・頭頸部外科分野）

③ 呼吸器外科手術における自己フィブリン糊の使用成績

演者：土岐 善紀（富山市立富山市民病院呼吸器血管外科センター）

④自己フィブリン糊を用いた経鼻的下垂体腫瘍摘出術の閉創と術後の鼻腔環境に関する検討

演者：岡田 満夫（虎の門病院間脳下垂体外科）

共催：旭化成メディカル株式会社

5 「大量出血への対応—massive transfusion protocol とフィブリノゲン製剤—」

5月24日（木）13：30～15：30

座長：山本 晃士（埼玉医科大学総合医療センター輸血細胞医療部）

宮田 茂樹（国立循環器病研究センター輸血管理室）

①大量出血に対するフィブリノゲン製剤の使用実態と投与意義

演者：山本 晃士（埼玉医科大学総合医療センター輸血細胞医療部）

②心臓外科手術における凝固因子補充療法

演者：小川 覚（京都府立医科大学大学院医学研究科麻酔科学教室）

③産科大量出血におけるフィブリノゲン製剤の投与意義

演者：松永 茂剛（埼玉医科大学総合医療センター総合周産期母子医療センター）

④救急領域におけるフィブリノゲン製剤投与の実態と投与意義

演者：早川 峰司（北海道大学病院先進急性期医療センター）

⑤大量出血に対する hemostatic resuscitation：最新のエビデンスに基づく検討

演者：宮田 茂樹（国立循環器病研究センター臨床検査部輸血管理室）

6 「新生児と乳児における輸血前検査の現状と課題」

5月25日（金）09：00～11：00

座長：岸野 光司（自治医科大学附属病院輸血・細胞移植部）

安田 広康（福島県立総合衛生学院教務部臨床検査学科）

①乳児の ABO 血液型検査：2重チェック体制の構築と運用上の問題点

演者：平岡希実子（国立病院機構四国こどもとおとなの医療センター臨床検査科）

②新生児、乳幼児における ABO 血液型ウラ検査の解析

演者：小林 美佳（自治医科大学附属病院輸血・細胞移植部）

③0歳児の赤血球同種抗体に関する多施設共同研究

演者：玉井 佳子（弘前大学医学部附属病院）

④ Micro Typing System を用いた生後4ヶ月以内乳児不規則抗体検査の役割と意義

演者：上村 正巳（新潟大学医歯学総合病院生命科学医療センター輸血・再生医療部門）

⑤母由来抗 A、抗 B を検出した生後4ヶ月以内の乳児への輸血

演者：浅野 尚美（岡山大学病院輸血部）

7 「情報共有ツールを活用した輸血医療の質向上」

5月25日（金）14：10～16：10

座長：河野 武弘（大阪医科大学附属病院輸血室）

松本 真弓（神鋼記念病院血液病センター）

Opening Remarks：質の高い輸血医療を提供する

演者：松本 真弓（神鋼記念病院血液病センター）

<第一部>深めよう！輸血の知識

①見逃してはいけない輸血副反応と輸血後鉄過剰症

演者：山崎 宏人（金沢大学附属病院輸血部）

<第二部>使ってみよう！輸血の情報共有ツール

②輸血関連情報カードの利用とその期待する効果について

演者：奥田 誠（東邦大学医療センター大森病院輸血部）

③輸血手帳を利用し輸血情報を確実に伝達するための取り組み

演者：守岩 美紀（防衛医科大学校病院看護部）

④様々な輸血現場における情報共有ツールの作成とチーム医療への応用

演者：末岡榮三朗（佐賀大学医学部臨床検査医学講座）

Closing Remarks：輸血医療の明日へ～One Step Beyond

演者：河野 武弘（大阪医科大学附属病院輸血室）

共催：ノバルティス ファーマ株式会社

8 「輸血チーム医療に関する指針」

5月25日（金）16：20～18：20

座長：牧野 茂義（虎の門病院輸血部）

面川 進（秋田県赤十字血液センター）

①「輸血チーム医療に関する指針」策定について

演者：牧野 茂義（虎の門病院輸血部）

②輸血チーム医療における学会認定・臨床輸血看護師に期待すること

演者：松本 真弓（神鋼記念病院血液病センター）

③輸血チーム医療における認定輸血検査技師の在り方

演者：奥田 誠（東邦大学医療センター大森病院輸血部）

④輸血チーム医療における薬剤師の立ち位置と役割

演者：阿部 真（秋田県赤十字血液センター）

⑤輸血医療チームによる輸血監査の重要性

演者：河野 武弘（大阪医科大学附属病院輸血室）

9 「チーム医療としての細胞治療の新展開～テムセル HS 注による急性 GVHD の治療体制～」

5月25日（金）09：00～11：00

座長：室井 一男（自治医科大学附属病院輸血・細胞移植部）

村田 誠（名古屋大学大学院医学系研究科血液・腫瘍内科学）

①テムセル HS 注施注時の看護

演者：山野 靖子（大阪市立大学医学部附属病院）

②テムセル HS 注の院内体制と調整手順

演者：杉本 達哉（東海大学医学部附属病院臨床検査技術科輸血室）

③当院における間葉系幹細胞による急性 GVHD 治療と新たな臨床応用への試み

演者：後藤 辰徳（名古屋大学医学部附属病院血液内科）

④テムセルを用いた細胞治療への発展

演者：玉井 克人（大阪大学大学院医学系研究科再生誘導医学寄附講座）

共催：JCR ファーマ株式会社

10 「造血幹細胞移植 scientific update」

5月25日（金）14：10～16：10

座長：前川 平（京都大学医学部附属病院輸血細胞治療部）

高見 昭良（愛知医科大学病院血液内科）

①血縁・非血縁者間移植における HLA 不適合の影響とその克服

演者：諫田 淳也（京都大学大学院医学研究科血液・腫瘍内科学）

②抗 HLA 抗体と拒絶

演者：内田 直之（虎の門病院血液内科）

③ GVHD における腸内細菌叢異常

演者：早瀬 英子（北海道大学病院検査・輸血部）

④造血幹細胞移植における新規免疫療法の位置付け

演者：加藤 光次（九州大学病院血液・腫瘍・心血管内科）

11 「洗浄血小板の使用状況と課題」

5月25日（金）09：00～11：00

座長：東 寛（旭川医科大学小児科学教室）

柳沢 龍（信州大学医学部附属病院輸血部）

①輸血副作用に対する予防投与の実態調査

演者：藤原慎一郎（自治医科大学附属病院血液科）

②院内調製洗浄血小板による副作用予防効果—小児科病棟からの報告

演者：柳沢 龍（信州大学医学部附属病院輸血部）

③洗浄血小板による副作用予防効果—全国調査の報告—

演者：藤島 直仁（秋田大学医学部附属病院輸血部）

④洗浄血小板製剤の供給状況、副作用報告状況と課題

演者：飯田 俊二（日本赤十字社血液事業本部技術部）

12 「造血幹細胞採取の受託業務と造血幹細胞採取施設の相互監査」

5月25日（金）15：10～17：10

座長：長村登紀子（東京大学医科学研究所附属病院セルプロセッシング・輸血部）

藤井 康彦（山口大学附属病院輸血部）

①末梢血幹細胞採取の受託から出荷まで～利点と問題点～

演者：長村登紀子（東京大学医科学研究所附属病院セルプロセッシング・輸血部）

②同種および自家末梢血幹細胞採取の受託

演者：三川 紫緒（千葉大学医学部附属病院輸血・細胞療法部）

③自家末梢血幹細胞の受託調製と保管・出庫

演者：小島奈緒美（山口大学医学部附属病院輸血部）

④指針の改定について

演者：田野崎隆二（慶應義塾大学医学部輸血・細胞療法センター）

⑤相互監査について（自治医大一東大医科研 相互監査の実施の試み）

演者：岸野 光司（自治医科大学附属病院輸血・細胞移植部）

13 「輸血療法の指針のありかた」

5月26日（土）13：30～15：30

座長：松下 正（名古屋大学医学部附属病院輸血部）

松本 雅則（奈良県立医科大学輸血部）

①使用ガイドライン改訂後の現状と今後の方向

演者：松下 正（名古屋大学医学部附属病院輸血部）

②輸血有害事象の予防と治療のガイドライン

演者：岡崎 仁（東京大学医学部附属病院輸血部）

③実施指針における血液製剤の管理体制の検討

演者：田中 朝志（東京医科大学八王子医療センター輸血部）

④自己血輸血の実実施指針の改定について

演者：安村 敏（富山大学附属病院検査・輸血細胞治療部）

⑤院内で輸血用血液を採取する場合（アフエレーシスを含む）の実実施指針の改訂

演者：室井 一男（自治医科大学附属病院輸血・細胞移植部）

14 「造血幹細胞の採取と移植に係る看護師の役割—チーム医療の視点から—」

5月26日（土）09：00～11：00

座長：松本 真弓（神鋼記念病院血液病センター）

土井 久容（神戸大学医学部附属病院腫瘍センター/通院治療室）

①移植チームにおける看護師の役割

演者：横田 真紀（自治医科大学附属病院看護部）

②末梢血幹細胞採取におけるアフエレーシスナースの役割

演者：猪越ひろむ（千葉大学医学部附属病院輸血・細胞治療部）

③造血幹細胞輸注時の看護—Day0の看護を考える—

演者：高木 尚江（岡山大学病院看護部）

④小児・AYA世代の造血幹細胞移植看護～小児がん患者に関わる看護師の役割～

演者：藤 理沙（札幌北楡病院看護部小児思春期科）

⑤造血幹細胞移植患者における退院後のフォローアップ

演者：菅原 美穂（千葉市立青葉病院外来）

15 「輸血後感染症検査の現状とあり方」

5月26日（土）09：00～11：00

座長：加藤 栄史（愛知医科大学輸血部・細胞治療センター）

紀野 修一（日本赤十字社北海道ブロック血液センター）

①輸血前後の感染症マーカー検査についての日本輸血・細胞治療学会マニュアル

演者：熊川みどり（福岡大学病院輸血部）

②アンケート調査からみた輸血後感染症検査の実施状況

演者：菅野 仁（東京女子医科大学病院輸血・細胞プロセッシング部）

③輸血後感染症検査でわかったこと—輸血後HBV陽性は必ずしも輸血が原因でない—

演者：紀野 修一（日本赤十字社北海道ブロック血液センター）

④輸血後感染症検査でHCV陽転化した場合について

演者：野崎 昭人（横浜市立大学附属市民総合医療センター輸血部）

⑤輸血前保存検体の意義・輸血後感染症検査が必須か

演者：加藤 栄史（愛知医科大学輸血部）

⑥個別NAT導入後の輸血感染について

演者：平 力造（日本赤十字社血液事業本部）

⑦医療機関の質と輸血後感染症検査の関連について

演者：田中 朝志（東京医科大学八王子医療センター輸血部）

⑧【特別発言】輸血後感染症検査、今後の展開

演者：溝上 雅史（国立国際医療研究センターゲノム医科学プロジェクト）

16 「循環器疾患に伴う von Willebrand 症候群」

5月26日（土）09：00～11：00

座長：藤村 吉博（日本赤十字社近畿ブロック血液センター）

松本 雅則（奈良県立医科大学輸血部）

① von Willebrand 因子（基質）と ADAMTS13（酵素）の構造変化とその意義

演者：小亀 浩市（国立循環器病研究センター・分子病態部）

②先天性 von Willebrand 病と後天性 von Willebrand 症候群

演者：松本 雅則（奈良県立医科大学輸血部）

③循環器疾患に伴う後天性 von Willebrand 症候群と AVeC study

演者：堀内 久徳（東北大学加齢医学研究所基礎加齢研究分野）

④補助人工心臓における後天性 von Willebrand 症候群

演者：齋木 佳克（東北大学心臓血管外科）

<ワークショップ>

1 「iPS 血小板と iPS 赤血球」

5月25日（金）09：00～10：30

座長：谷 慶彦（大阪府赤十字血液センター）

栗田 良（日本赤十字社中央血液研究所）

① iPS 細胞からの血小板製剤の作製

演者：杉本 直志（京都大学 iPS 細胞研究所臨床応用研究部門）

② iPS 細胞由来血小板の止血機能評価 (ウサギを用いた前臨床試験)

演者: 渡邊 直英 (慶応大学輸血細胞治療部)

③ iPS 細胞由来血小板の品質評価 (献血由来血小板との違い)

演者: 淵崎 晶弘 (日本赤十字社近畿ブロック血液センター製剤部)

④ iPS 細胞及び不死化前駆株を用いた赤血球生産の試み

演者: 船戸 興自 (日本赤十字社血液事業本部中央血液研究所)

⑤ Dysregulated cell-cycle by KLF1 mutation induces cell-cycle arrest in erythroid cells derived from CDA-iPSCs

演者: 廣瀬 理沙 (東京大学医科学研究所・ALA 先端医療学社会連携研究部門)

⑥ iPS 細胞由来血液製剤の臨床応用への課題

演者: 木村 貴文 (日本赤十字社近畿ブロック血液センター製剤部)

2 「ガンマグロブリン療法の将来展望」

5月25日(金) 16:10~17:40

座長: 米村 雄士 (熊本大学医学部附属病院輸血・細胞治療部)

羽藤 高明 (愛媛大学医学部附属病院輸血・細胞治療部)

① アンケート調査からみた日本のガンマグロブリン製剤使用実態

演者: 菅野 仁 (東京女子医科大学病院輸血・細胞プロセッシング部)

② ガンマグロブリン製剤を主とした血漿分画製剤使用の世界的動向

演者: 河原 和夫 (東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科政策科学分野)

③ ガンマグロブリン静注療法の作用機序

演者: 桑名 正隆 (日本医科大学アレルギー膠原病内科)

④ 免疫性神経疾患に対するIVIg治療—臨床効果と今後の課題—

演者: 野村 恭一 (埼玉医科大学総合医療センター神経内科)

3 「アルブミン製剤の有用性と適正使用」

5月25日(金) 09:00~10:30

座長: 安村 敏 (富山大学医学部附属病院検査・輸血細胞治療部)

野崎 昭人 (横浜市立大学附属市民総合医療センター)

① 肝硬変症に対するアルブミン治療の役割

演者: 土井 久和 (豊郷病院)

② アルブミン結合毒素とアルブミン透析

演者: 阿部 貴弥 (岩手医科大学泌尿器科学講座)

③ 外科臨床におけるアルブミン製剤の意義

演者: 深柄 和彦 (東京大学医学部附属病院手術部, 同材料管理部)

④ HES 製剤の進歩と Volume Therapy

演者: 宮尾 秀樹 (埼玉医科大学総合医療センター麻酔科)

4 「合同輸血両療法委員会と各種団体との連携」

5月26日(土) 13:30~15:00

座長: 立花 直樹 (青森県立中央病院)

藤盛 好啓 (兵庫医科大学病院輸血・細胞治療科)

① 青森県合同輸血療法委員会と青森県臨床検査技師会との連携による継続した輸血検査研修の取り組み

演者: 本田 昌樹 (青森県合同輸血療法委員会, 青森市民病院医療技術局臨床検査部)

② 岐阜県合同輸血療法委員会と医師会・薬剤師会・検査技師会連携とその歩み

演者: 小杉 浩史 (大垣市民病院血液内科)

③ 福岡県合同輸血療法委員会における認定看護師, 認定技師, 認定医師からなる多職種タスクフォース活動

演者: 大崎 浩一 (久留米大学病院臨床検査部)

- ④兵庫県合同輸血療法委員会における臨床検査技師ワーキンググループと看護師ワーキンググループの連携
 演者：坊池 義浩（兵庫県合同輸血療法委員会臨床検査技師ワーキンググループ, 神戸学院大学栄養学部臨床検査学部門）

<パネルディスカッション>

1 「交差適合試験の省略と簡略化を考える」

5月24日（木）09：00～10：30

座長：丸橋 隆行（群馬大学医学部附属病院輸血部）

李 悦子（徳島大学病院輸血・細胞治療部）

①安全性を重視した高感度交差適合試験の運用

演者：松浦 秀哲（藤田保健衛生大学病院輸血部）

②迅速で安全な交差適合試験の簡略化

演者：大槻 郁子（自治医科大学附属病院輸血・細胞移植部）

③安全な血液を24時間・365日迅速に払い出すためのコンピュータクロスマッチ運用

演者：坂口 武司（防衛医科大学校病院輸血・血液浄化療法部）

④コンピュータクロスマッチは本当に省力化できて安全なのか？

演者：藤野 恵三（大阪市立大学医学部附属病院中央臨床臨床検査部/輸血部）

2 「輸血療法と遠隔医療」

5月26日（土）13：30～15：00

座長：北澤 淳一（青森県立中央病院臨床検査部）

末岡榮三朗（佐賀大学医学部臨床検査医学講座）

①遠隔医療に関する制度、厚労省の方針

演者：近藤 徹（厚生労働省医薬・生活衛生局血液対策課）

②遠隔離島（小笠原諸島）における Blood Rotation システムについて

演者：館谷利江子（東京都赤十字血液センター）

③在宅輸血の現状と課題

演者：大橋 晃太（トータス往診クリニック）

④遠隔医療の実際

演者：高野 秀雄（医療法人雄愛会高野クリニック）

⑤在宅輸血と遠隔医療について

演者：末岡榮三朗（佐賀大学医学部臨床検査医学講座）

3 「末梢血幹細胞動員不良例への対応」

5月26日（土）09：00～10：30

座長：奥山 美樹（がん・感染症センター都立駒込病院輸血・細胞治療科）

池田 和彦（福島県立医科大学医学部（臨床医学系）輸血・移植免疫学講座）

①新規薬剤プレリキサホル開発の経緯と造血幹細胞採取効率の改善

演者：石田 禎夫（日本赤十字社医療センター血液内科）

②プレリキサホル使用の判断とCD34陽性細胞数

演者：横濱 章彦（群馬大学附属病院輸血部）

③プレリキサホルの使用経験とコストの問題

演者：伊藤 薫樹（岩手医科大学医学部臨床腫瘍学講座）

④小児におけるプレリキサホル使用の現状

演者：佐野 秀樹（福島県立医科大学小児腫瘍内科）

4 「緊急輸血におけるシミュレーションー輸血医療チームの創り方ー」

5月26日（土）13：30～15：00

座長：谷口 容（国立病院機構名古屋医療センター臨床検査科）
木村 秀実（埼玉協同病院看護部）

① Introduction

演者：谷口 容（国立病院機構名古屋医療センター臨床検査科）

② 医師の立場から

演者：吉場 史朗（東海大学医学部付属病院血液腫瘍内科）

③ 看護師の立場から

演者：島村 麻美（防衛医科大学校病院）

④ 技師の立場から

演者：日高 陽子（東邦大学医療センター大森病院輸血部）

⑤ 輸血医療チームの創り方

演者：松浦 秀哲（藤田保健衛生大学病院輸血部）

<サテライトセミナー>

- ・ 2018 年度日本血小板・顆粒球型ワークショップ
- ・ 病院情報システム
- ・ 自己血輸血の実施管理体制
- ・ 新 I&A 制度プログラム内容のアップデート
- ・ 看護師ブラッシュアップセミナー
- ・ 輸血検査技師リフレッシュャーコース
- ・ 細胞治療に必要な細胞処理・検査に関する技術講習会
- ・ 学会認定・臨床輸血看護師制度 受験予定者のためのガイダンス
- ・ 学会認定・アフエレーシスナース受験予定者のためのガイダンス
- ・ 認定医受験予定者のためのガイダンス

<Meet the Expert>

※事前予約制です（定員制）。朝食を用意いたします。

5月25日（金）08：10～08：40

- ・ 末梢血幹細胞の凍結と解凍
演者・座長：長村登紀子（東京大学医科学研究所附属病院セルプロセッシング・輸血部）
- ・ 輸血部門に必要な凝固系の知識
演者・座長：田中 朝志（東京医科大学八王子医療センター輸血部）
- ・ 病院情報システムの将来像
演者・座長：大谷 慎一（北里大学医学部輸血・細胞移植学）
- ・ 看護師のワーク・ライフ・バランス
演者・座長：松本 真弓（神鋼記念病院血液病センター）

5月26日（土）08：10～08：40

- ・ アフエレーシスの看護—静脈ルートの確保—
演者・座長：村田真由美（倉敷中央病院血液治療センター）
- ・ 直接タームス陽性患者の輸血検査と輸血
演者・座長：岸野 光司（自治医科大学附属病院 輸血・細胞移植部）
- ・ 母児間血液型不適合妊娠における輸血検査
演者・座長：川畑 絹代（福島県立医科大学附属病院輸血・移植免疫部）
- ・ 学会運営と厚生労働省血液事業部会
演者・座長：室井 一男（自治医科大学附属病院輸血・細胞移植部）